

2015年1月1日～2020年4月30日の間に
当科において円形脱毛症の治療を受けられた方およびそのご家族の方へ
—「円形脱毛症の治療効果に影響する患者背景因子の検討」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 前田嘉信
研究機関名 岡山大学学術研究院医歯薬学域
研究機関長 成瀬恵治

研究責任者 岡山大学病院 皮膚科 教授 森実真
研究分担者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 皮膚科学 客員研究員 芦田日美野
岡山大学病院 皮膚科 助教 三宅智子
岡山大学病院 皮膚科 助教 横山恵美

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

円形脱毛症は主に類円形の脱毛斑を生じる疾患であり、脱毛症状は頭部だけでなく毛髪が存在するあらゆる部位に発生します。毛包を標的にした自己免疫疾患と考えられており、通常、成長期毛包は過度な炎症によるダメージを回避するため、自分の組織を攻撃しない環境（免疫寛容）にありますが、円形脱毛症では毛包の免疫寛容が破綻し、毛包組織がリンパ球による攻撃を受けて破壊されてしまいます。増悪・軽快を繰り返しながら脱毛斑が拡大し、外見上の印象を大きく左右するため、患者さんの生活の質は著しく低下します。円形脱毛症の治療は対症療法になりますが、疾患の性質上、増悪・軽快を繰り返し治療効果も判定しにくいことからエビデンスのある治療法は多くありません。

本研究では、重症度や治療法、病理組織学的特徴による治療経過および結果の相違を検証することで、患者さんの治療方針を決定する際のエビデンスを得ることを目的とします。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究により円形脱毛症の治療効果に関連する背景因子が見出され、より適切な治療法の選択につながる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015年1月1日～2020年4月30日の間に岡山大学病院皮膚科において円形脱毛症の治療を受けられた方134名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年3月31日

3) 研究方法

2015年1月1日～2020年4月30日の間に当院において円形脱毛症の治療を受けられた方で、研究者が診療情報および病理組織の残余を用いて、重症度、治療法、治療経過および結果、病理組織学的所見、遺伝子発現に関する解析を行います。

4) 使用する試料

この研究に使用する試料として、すでに保存されている病理組織（パラフィン包埋皮膚組織）を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、既往歴、併存疾患、脱毛斑の数・範囲・形態、重症度、治療内容、治療経過および結果、血液検査データ

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院皮膚科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

この研究における個人情報の開示はしません。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますのでご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 皮膚科

氏名：森実真

電話：086-235-7282（平日：9時00分～16時00分） 086-235-6782（休日夜間）

ファックス：086-235-7283